

形成外科後期臨床研修医（レジデント）カリキュラム

■ 概要

星ヶ丘厚生年金病院形成外科は、地域医療の中核病院として地域の診療所、医院との協力体制のもと、日常診療のなかでよくみかける皮膚外科手術を数多く行っています。また、総合病院の中の形成外科として、先天異常や他科と関連した様々な疾患の診断、治療も行っています。さらに近年の救急医療体制の充実にともない、熱傷や顔面外傷などの救急医療の中での形成外科診療も積極的に行っています。形成外科後期臨床研修カリキュラムでは、これらの幅広い症例を経験しながら、形成外科全般にわたる知識と基本的技術を修得することを目標としています。

■ 到達目標

- 1 形成外科疾患の診察法、検査法を理解し診断、治療計画をたてる。
- 2 皮膚外科手術の基本を理解し、基本手技を修得する。
- 3 救急医療の中での形成外科の役割を理解し実践する。

■ 研修内容

- 1 指導医とともに担当患者を受け持ち、診察、診断、治療を行う。
経験することが望ましい疾患
 - (1) 新鮮熱傷
 - (2) 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷
 - (3) 唇裂、口蓋裂
 - (4) 手、足の先天異常、外傷
 - (5) その他の先天異常
 - (6) 母斑、血管腫、良性腫瘍
 - (7) 悪性腫瘍およびそれに関連する再建
 - (8) 瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド
 - (9) 褥瘡、難治性潰瘍
 - (10) その他
- 2 指導医とともに皮膚外科手術を経験し、後期研修2年目には指導医のもと自ら皮膚外科手術を行う。
- 3 形成外科救急疾患では救急医療部とともに初療に関与し、熱傷や顔面外傷の初期治療を行う。

■ 週間スケジュール

	AM	PM										
	8	9	10	11	0	1	2	3	4	5	6	
月		外来・病棟					手術（局所麻酔）					
火		外来・病棟					褥瘡対策ケアチーム回診					
水		外来・病棟					手術（局所麻酔）					
木		外来・病棟					手術（局所麻酔）			術前・術後カンファレンス		
金		手術（全身麻酔）										

■ 形成外科専門医制度について

形成外科専門医の認定を申請するための資格として、学会が認定した研修施設（認定施設、教育関連施設）での6年以上の形成外科研修が必要です。平成19年度より星ヶ丘厚生年金病院形成外科は教育関連施設として認定されました。

■ 形成外科手術件数（平成18年）

全麻手術	82件
局麻手術	231件
新鮮熱傷	2件
顔面骨骨折、顔面軟部組織損傷	34件
手足の先天異常、外傷	6件
その他の先天異常	7件
母斑、血管腫、良性腫瘍	194件
悪性腫瘍及びそれに関連する再建	5件
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	20件
褥瘡、難治性潰瘍	13件
その他	32件